

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

| | | | | | |
|-----------|---------------------------|--------|----------|-----------|--------------|
| 団体名 | 伊勢崎市 | | | 代表者名 | 伊勢崎市長 臂 泰雄 |
| 担当者部署(属性) | 企画担当 | 担当者部署名 | 企画部事務管理課 | 連絡先電話番号 | 0270-27-2708 |
| 担当者役職 | 係長 | 担当者氏名 | 金井 亮 | 連絡先E-mail | |
| 住所 | 372-8501 群馬県伊勢崎市今泉町二丁目410 | | | | |

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

| | | | |
|-------|--|-----------|--|
| 団体名 | | 連絡先部署 | |
| 担当者氏名 | | 連絡先電話番号 | |
| | | 連絡先E-mail | |

1-3. 支援を求める内容

| | | | |
|----------|--|---------|--------|
| 支援方法 | 職員向け啓発・研修（単独） | 事業名（予定） | 窓口DX事業 |
| 概要 | 自治体フロントヤード改革の一環として、窓口支援システムを調達し書かないワンストップ窓口型の総合窓口を導入するにあたって、進め方、仕様検討の状況等についてアドバイスをいただきたいもの | | |
| 支援を求める分野 | その他 | | |

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

| | | | | | |
|----------------|---------------|------------------|------------|----------------|----------|
| 2-1. 対応日・時間 | 期日・支援内容の変更あり | 受付番号 | 変更後の派遣日 | 変更後に実施した支援内容 | 実地/オンライン |
| | 有 | 416 | 令和7年2月14日 | 支援・助言 | 実地 |
| | 派遣日予定日（申請書より） | 支援内容（申請書より） | 開始時刻 | 終了時刻 | 内休憩時間（分） |
| | 令和6年6月26日 | 支援・助言(実地) | 14時00分 | 17時00分 | |
| | | | | 活動時間（分） | 180 |
| 2-2. | 会場名 | 伊勢崎市役所 | 最寄駅 | JR伊勢崎駅 | |
| 派遣場所 | 所在地 | 群馬県伊勢崎市今泉町二丁目410 | 最寄駅からの交通手段 | バス・タクシー（徒歩20分） | |

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

| | |
|-----------------------------|---|
| アドバイザー | 齋藤 理栄 |
| 評価 | 大変よい |
| 上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に） | 事業の今後の展開にあたり、他団体の状況を成功例だけでなく失敗談も交えてお話しただけだ。他団体の状況については、関連のニュース動画やホームページをご紹介いただき、具体的なイメージを共有しながら、アドバイスを聞いた。今後のスケジュールや推進体制についてもご意見や、参考とするべき視察先の候補なども上げていただき、大変勉強になった。 |
| アドバイザーへの要望事項 | 他団体の状況等を踏まえながら忌憚のないご意見をいただきたい。 |

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

| | | | |
|----------------|-------------------------|-------|-----------|
| 4-1. 支援を受けた対象者 | 属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】 | 合計人数 | 2人 |
| | 属性 | 自治体職員 | 住民 |
| | 人数 | 2 | 企業・団体 |
| | | | その他(学生など) |

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

| | |
|------------------------|--|
| 事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい） | 窓口支援システムを導入し令和7年1月から総合窓口の運用を開始した。現在は取扱い手続きを限定し取り組んでいるが、今後の業務拡大と、それに伴う組織の拡大や物理的なレイアウトの変更など、今後の進め方について利用者目線を取り入れながら進めたいと考えているが、その手法やスケジュール感、検討を要する事項の洗い出し等についてどのように取り組むべきかをクリアにした。 |
| 支援により目指す成果（具体的にご記入下さい） | 総合窓口拡大に向けたToDoを漏れなく明らかにし、推進体制、スケジュールを構築する。 |

| | | |
|---|--|--|
| アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい) | 業務拡大については、ライフイベントに係るものを中心としつつ、中でもあらかじめターゲットとする分野を定め、分野に存在する手続きからめぼしいものをピックアップしていく方式が管理しやすいと助言をいただいた。他にも事前予約の有効性や事前申請時に設問を多くしすぎない事等の助言をいただいた。また、体験調査等を経てゴール(目指すべき姿)は変わってもよい、ゴールを常に職員間で共有しておくことが重要であると助言をいただいた。その他、プロジェクトチームの結成時期やレイアウト変更に関するスケジュール感、事業者への協力依頼の方法、視察の必要性など細部に渡り助言をいただいた。 | |
| 支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい) | 総合窓口拡大に向けて、取り組むべきこと、留意点、スケジュール感が支援前と比較しクリアになった。 | |
| 具体的な成果物 | 最も当てはまるものをリストより選択下さい。 | ⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない |
| 改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください) | 詳細な取組事項とスケジュールの設定、プロジェクトチームメンバーの選出基準等については今後検討が必要である。 | |
| アンケートの内容と分析結果 | 講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 今回の支援対象が同所属内の職員かつ少数であり、支援に関する内容や所感を共有しているため。 | |
| 4-3. 今後の計画 | 最も当てはまるものをリストより選択下さい | ③現段階では課題・問題が残っているため未定 令和7年度中に総合窓口拡大の方針を策定し、令和8年度以降の予算化を図り、実務に着手したいもの。 |
| 4-4. 事業の最終的な目指す姿 | 窓口支援システムの活用により手続きのオンライン化、総合窓口での受付業務を集約する等窓口業務全般の効率化を図り、行かない、書かない、待たない、迷わない窓口を実現し市民にとって便利であり、職員の負担が少ない窓口運営を目指す | |

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

掲載許可 掲載可

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

